



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月13日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5195 URL https://www.bandogrp.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	71,521	4.7	5,344	13.4	6,296	20.5	4,657	18.0
2018年3月期第3四半期	68,286	3.8	4,714	12.2	5,224	4.2	3,947	3.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,224百万円 (△45.8%) 2018年3月期第3四半期 5,952百万円 (45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	101.61	—
2018年3月期第3四半期	86.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	99,675	65,244	65.2
2018年3月期	98,990	63,394	63.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 64,993百万円 2018年3月期 63,162百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	16.00	—		
2019年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	3.0	6,500	2.6	7,000	6.1	5,000	4.3	109.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	47,213,536株	2018年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,335,681株	2018年3月期	1,415,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	45,834,823株	2018年3月期3Q	45,813,288株

(注) 当社は、従業員持株E S O P信託および役員報酬B I P信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国は民間部門主導の自律的な景気回復が持続し、日本も内需にけん引される形で引き続き景気回復基調が持続いたしました。一方で、欧州は外需の落ち込みにより、中国は米中貿易摩擦の影響等もあり、景気はそれぞれ減速いたしました。アジア地域においても、輸出を中心に景気拡大のペースが鈍化する傾向がみられます。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国や内需が好調なタイをはじめとするアジア地域では、自動車生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移いたしました。日本では、生産台数は前年水準で推移いたしました。景気が減速している欧州や中国では、生産台数が前年度を下回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第2ステージの初年度として、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指しての活動を開始いたしました。また、高い非付着性を有し、小さなブリー径にも対応したフッ素樹脂ベルト「ミスターウルトラミラー™」の販売を開始したほか、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業として、スポーツ庁から「スポーツエールカンパニー」に、2年連続で認定されました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は715億2千1百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は53億4千4百万円(前年同期比13.4%増)、経常利益は62億9千6百万円(前年同期比20.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億5千7百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

## [自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数が前年水準で推移し、補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)および補機駆動用伝動システム製品(オートテンショナ、バンドースムスカップラー®など)の販売は増加いたしました。

海外においては、中国において自動車生産台数の減少により販売が減少いたしました。アジア地域において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は315億6千5百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益は25億1千1百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

## [産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、機械受注に足踏みがみられ、産業機械用伝動ベルトの販売は前年比横ばいで推移いたしました。また、米国、中国およびアジア地域における販売強化により農業機械用伝動ベルトや産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内において鉄鋼向けなどの案件が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は262億2千3百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は取引先への不具合対応により原価が増加した影響もあり14億7千1百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

## [高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、建築材業界への販売強化により、建築資材用および工業資材用フィルムの販売が増加いたしました。医療関連製品および装飾表示製品の販売は減少いたしました。

精密機能部品につきましては、OA機器メーカーの生産台数は横ばいで推移しているものの、主要顧客向け高機能ローラおよびブレードの販売が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は116億7千2百万円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は高付加価値製品への転換が進んだことなどにより6億7千9百万円(前年同期比158.9%増)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業などを行っており、売上高は26億5千2百万円(前年同期比38.4%増)、セグメント利益は電子資材事業の増加が寄与し5億1千4百万円(前年同期比121.4%増)となりました。

上記の各セグメント別売上高およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が23億6千万円増加した一方、固定資産が16億7千4百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ6億8千5百万円増加し、996億7千5百万円となりました。

負債は、流動負債が9億3百万円減少し、固定負債が2億6千万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ11億6千4百万円減少し、344億3千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上により利益剰余金が32億1千9百万円増加した一方、その他の包括利益累計額が14億6千9百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ18億5千万円増加し、652億4千4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.8%から65.2%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、業績予想について見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,947	19,690
受取手形及び売掛金	18,950	18,367
電子記録債権	2,834	3,420
商品及び製品	7,099	7,424
仕掛品	1,708	1,899
原材料及び貯蔵品	3,080	3,358
その他	1,182	1,991
貸倒引当金	△37	△24
流動資産合計	53,767	56,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,724	9,544
機械装置及び運搬具(純額)	9,839	9,673
土地	6,416	6,373
建設仮勘定	1,794	1,277
その他(純額)	1,634	1,603
有形固定資産合計	29,409	28,472
無形固定資産		
のれん	64	57
ソフトウェア	734	739
その他	764	727
無形固定資産合計	1,563	1,523
投資その他の資産		
投資有価証券	12,443	11,325
繰延税金資産	501	852
その他	1,448	1,518
貸倒引当金	△142	△145
投資その他の資産合計	14,249	13,551
固定資産合計	45,222	43,548
資産合計	98,990	99,675

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,966	9,606
電子記録債務	4,441	4,680
短期借入金	2,921	2,770
未払法人税等	925	536
株式報酬引当金	15	—
その他	6,773	6,545
流動負債合計	25,043	24,139
固定負債		
長期借入金	3,226	3,135
社債	6,000	6,000
株式報酬引当金	39	65
退職給付に係る負債	1,123	892
その他	162	196
固定負債合計	10,552	10,291
負債合計	35,595	34,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,995	2,995
利益剰余金	49,371	52,590
自己株式	△1,421	△1,339
株主資本合計	61,897	65,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,552	1,581
為替換算調整勘定	△1,545	△2,088
退職給付に係る調整累計額	257	301
その他の包括利益累計額合計	1,265	△204
非支配株主持分	231	250
純資産合計	63,394	65,244
負債純資産合計	98,990	99,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	68,286	71,521
売上原価	47,628	50,301
売上総利益	20,657	21,219
販売費及び一般管理費	15,943	15,875
営業利益	4,714	5,344
営業外収益		
受取利息及び配当金	237	266
持分法による投資利益	362	619
その他	266	407
営業外収益合計	866	1,293
営業外費用		
支払利息	162	134
固定資産除却損	99	125
その他	94	82
営業外費用合計	356	342
経常利益	5,224	6,296
税金等調整前四半期純利益	5,224	6,296
法人税、住民税及び事業税	1,305	1,521
法人税等調整額	△58	91
法人税等合計	1,246	1,613
四半期純利益	3,977	4,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,947	4,657

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,977	4,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	686	△969
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	1,091	△293
退職給付に係る調整額	244	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	△239
その他の包括利益合計	1,974	△1,459
四半期包括利益	5,952	3,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,921	3,187
非支配株主に係る四半期包括利益	30	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,222	24,100	11,340	66,663	1,623	68,286	—	68,286
セグメント間の内部 売上高または振替高	64	64	28	157	293	451	△451	—
計	31,286	24,165	11,368	66,821	1,916	68,737	△451	68,286
セグメント利益	2,367	1,508	262	4,138	232	4,370	343	4,714

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額343百万円には、セグメント間取引消去10百万円、全社費用333百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,535	26,124	11,663	69,323	2,197	71,521	—	71,521
セグメント間の内部 売上高または振替高	30	99	8	138	454	592	△592	—
計	31,565	26,223	11,672	69,461	2,652	72,114	△592	71,521
セグメント利益	2,511	1,471	679	4,663	514	5,177	166	5,344

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額166百万円には、セグメント間取引消去12百万円、全社費用154百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上高(百万円)	19,984	6,981	7,939	34,906
II 連結売上高(百万円)				71,521
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.9	9.8	11.1	48.8

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。
- (1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域
- アジア……………タイ、韓国、インド、ベトナム、インドネシアほか
- 中国……………中国、香港
- 欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか